

**【第1号議案】令和元年度事業報告及び決算について**  
(平成30年11月1日～令和元年10月31日)

**令和元年度事業報告書**

1. 登録会員数(令和元年10月31日現在)

個人会員	211名
学生会員	3名
法人会員A	49社
法人会員B	2社
公益会員	4社

※「定款 第10条 会員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

(4) 2年以上会費を滞納したとき。」

に従い平成29年度から令和元年度の会費滞納者7名が令和2年度より資格喪失となった。

2. 一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会 理事会及び総会

理事会及び総会を以下の通り開催した。

1) 平成31年度第1回通常理事会(第12回)

日時 平成30年12月7日(金) 16:00～17:00

場所 ハロー貸会議室新橋I

審議事項

第1号議案 平成30年度事業報告及び決算について

事務局より議案書のとおり報告が行われ、賛成多数で承認された。

第2号議案 平成31年度定時社員総会の開催について

議案書のとおり、平成31年度定時社員総会を次のとおり開催することが賛成多数で承認された。

・日時 平成31年1月28日(月) 12時50分より13時20分

・場所 ハロー貸会議室新橋H (ニュー新橋ビル 8階)

・議題 第1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告について

報告事項

第1号報告 業務執行理事の職務執行状況について

議案書のとおり報告が行われた。

第2号報告 第8回研究発表会について

2019年に開催する第8回研究発表会について次の通り報告。

・日時 2019年7月10日(水)～7月11日(木)

・場所 けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)

・7月12日(金)に、エクスカッションを行う。

2) 電磁的記録による理事会決議(第13回)

理事の交代の申し出があったため、総会の議事に、第2号議案 理事の選任 を追加することについて、12月28日に電磁的に提案し、1月15日までに理事、監事全員から同意を得た。

3) 令和元年度第2回通常理事会（文書による決議）（14回）

令和1年10月22日（月）に議案書を送付し、10月31日までに理事、監事全員から同意書を得た。議案は次の通り。

審議事項

- (1) 令和2年度事業計画及び収支予算について

報告事項

- (1) 第8回研究発表会の結果及び第9回研究発表会の予定について  
(2) 第8回研究発表会 優秀発表賞の表彰について  
(3) 令和2年度第1回通常理事会及び定時社員総会の日程について  
(4) 業務執行理事の職務執行状況の報告

4) 平成31年度定時社員総会（第5回）

日時 平成31年1月28日（金）12:50-13:20

場所 ハロー貸会議室新橋H（ニュー新橋ビル 8階）

議題

審議事項

- 第1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告について

事務局より事業報告書、収支計算書、貸借対照表および財産目録の報告が行われた後、中川監事より監事監査報告が行われ、全会一致で承認された。

- 第2号議案 理事の選任について

事務局よりの議案書の説明があり、全会一致で承認された。

報告事項

- (1) 平成31年度事業計画及び収支予算について

平成31年度事業計画書及び収支予算書について報告があった。

- (2) 第8回研究発表会について

日時：2019年7月10日（水）～11日（木）

場所 けんしん郡山文化センター（郡山市民文化センター）

7月12日（金）に、エクスカッションを行う。

以上のとおり第12回理事会にて承認されたことが報告された。

3. 講演会活動

第15回講演会

2019年1月28日（金）に、ハロー貸会議室新橋H（ニュー新橋ビル8階）にて、「除染・減容化のための化学的分離法」をテーマに開催した。

4. 研究発表会

第8回研究発表会は、令和1年7月10日（水）、11日（木）に、けんしん郡山文化センター（郡山市民文化センター）で行われた。（実行委員長：米田会長）

松澤裕環境省大臣官房審議官、橋本武士福島県生活環境部回復推進監兼次長、品川萬里郡山市長より来賓挨拶をいただいた。

今回の発表課題数は、口頭発表 54 件、ポスター発表 51 件であった。

企画セッションは次の 3 テーマで行われた。

- ・「リスクをめぐる対話ーリスクコミュニケーションのあり方」

日本リスク研究学会との共催

- ・「県外最終処分に向けたシナリオとその多面的評価」

「県外最終処分技術開発戦略あり方研究会」 成果報告

- ・「福島第一原子力発電所事故 による海、川への影響」 (一般公開)

また、2 日目午後に環境省との共催で、国際シンポジウムが開催された。

テーマは、「環境回復活動と住民の理解・信頼向上」。(一般公開)

企業展示件数は 33 件 (企業展示 17 社、企画展示 16 団体) であった。無料枠の企画展示に多くの団体が出展していただき、展示室は有効に活用できた。

参加者数は、全体で、概ね 450 名であった。また、国際シンポジウムの参加者は約 130 名であった。

研究発表会中に懇親会が開催され、約 150 名にご参加いただいた。来賓として、松澤環境省大臣官房審議官、品川郡山市長、小林正明中間貯蔵・環境安全事業株式会社社長よりご挨拶をいただいた。

## 5. 表彰 (学会表彰・発表賞)

ホームページにて学会賞・学術賞・技術賞・奨励賞・功労賞の推薦募集を行い、表彰委員会 (委員長：米田稔会長) によって選定、研究発表会で表彰式を行った。

授賞式：2019 年 7 月 10 日 (水) 17:30 より 於 けんしん郡山文化センター

受賞者：

学会賞 大迫 政浩 氏 (国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター長)

学術賞 竹下 健二 氏 (東京工業大学 教授)

技術賞 釜田 陽介 氏 (株式会社クボタ)

奨励賞 万福 裕造 氏 (農業・食品産業技術総合研究機構)

奨励賞 島田 洋子 氏 (京都大学大学院 工学研究科)

功労賞 安原 昭夫 氏 (環境放射能除染学会)

功労賞 行健除染ネットワーク

(賞状およびクリスタルの盾 (副賞) を授与)

第 8 回研究発表会において選考委員会を設置し、内規に則り最優秀、優秀口頭発表賞および最優秀、優秀ポスター発表賞を選考した。

受賞者：

最優秀口頭発表賞 奥村大河ほか 5 名 (東京大学、農研機構、原子力機構)

優秀口頭発表賞 稲葉雄介、緒方良至、杉田剛・下山巖、野田康一 氏らの 4 組

最優秀ポスター発表賞 本田菜々子ほか 10 名 (福島県立福島高等学校)

優秀ポスター発表賞 有馬謙一、渡曾健太、氏家亨、岩崎貴裕 氏らの 4 組

(賞状および副賞を送付)

## 6. ジャーナルの発行

本年度は、vol6 No4 から vol7 No3 までの4巻が発行された。

## 7. 対外協力

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が作成・運用を行う、福島第一原子力発電所事故に関する情報検索システム「福島原子力事故関連情報アーカイブ（FNAA）」への、第8回研究発表会要旨集の情報を提供し、公開予定。

また、「福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会」への参加を継続し情報の交流をしている。

中間貯蔵・環境安全事業株式会社（小林正明社長他）と今後の中間貯蔵及び最終処分に関する研究の推進について、意見交換を行った。

## 8. 分科会活動等

「県外最終処分に向けた技術開発戦略の在り方に関する研究会（通称：県外最終処分技術戦略研究会）」を設置し、除染から最終処分までの全工程の俯瞰と課題の包括的整理、現状の高度減容化技術の調査と整理、到達可能減容化率の試算等に関する調査研究の成果等を踏まえて、県外最終処分に向けた技術開発戦略の在り方について検討を行っている。

# 令和元年度 収支計算書

平成30年11月1日から令和元年10月31日

一般社団法人 環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異(決算-予算)	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1. 事業活動収入</b>				
<b>① 会費収入</b>				
個人会員会費収入	2,043,000	1,584,000	△ 459,000	
シニア会員会費収入	103,500	76,500	△ 27,000	
学生会員会費収入	4,500	9,000	4,500	
法人A会員会費収入	8,400,000	7,800,000	△ 600,000	
法人B会員会費収入	300,000	200,000	△ 100,000	
公益会員会費収入	200,000	200,000	0	
<b>② 事業収入</b>				
研究発表会収入	5,000,000	5,121,900	121,900	
講演会費収入	400,000	216,000	△ 184,000	
学会誌収入	400,000	117,800	△ 282,200	
既刊テキスト販売	50,000	9,440	△ 40,560	
受託事業収入	1,900,000	1,511,609	△ 388,391	
<b>④ 雑収入</b>				
受取利息収入		161	161	
その他雑収入			0	
その他事業収入			0	
<b>事業活動収入計</b>	<b>18,801,000</b>	<b>16,846,410</b>	<b>△ 1,954,590</b>	
<b>2. 事業活動支出</b>				
<b>① 事業費支出</b>				
研究発表会支出	5,000,000	5,481,704	481,704	
講演会費支出	700,000	363,550	△ 336,450	
学会誌等刊行費支出	2,300,000	2,587,522	287,522	
部会活動費支出	80,000	0	△ 80,000	
受託事業支出	1,091,000	585,566	△ 505,434	
<b>② 管理費支出</b>				
人件費支出	3,360,000	3,360,000	0	
法定福利費	520,000	586,846	66,846	
福利厚生費支出	100,000	0	△ 100,000	
ホームページ運営費支出	418,000	0	△ 418,000	
会議費支出	300,000	114,680	△ 185,320	
旅費交通費支出	500,000	370,901	△ 129,099	
通信運搬費支出	260,000	242,518	△ 17,482	運搬費含
消耗品費	550,000	340,035	△ 209,965	予算にコピー機レンタル料含
備品費	250,000	287,783	37,783	
事務所費支出	2,160,000	2,159,357	△ 643	水道光熱費・家賃含
支払手数料支出	30,000	21,636	△ 8,364	
業務委託費支出	840,000	840,000	0	事務支援
雑支出	100,000	131,754	31,754	
リース料	172,000	194,604	22,604	
租税公課	70,000	397,600	327,600	
<b>事業活動支出計</b>	<b>18,801,000</b>	<b>18,066,056</b>	<b>△ 734,944</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,219,646</b>	<b>△ 1,219,646</b>	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>V 収支差額</b>				
当期収支差額	0	△ 1,219,646	△ 1,219,646	
前期繰越収支差額	18,590,154	18,590,154	0	
次期繰越収支差額 *	18,590,154	17,370,508	△ 1,219,646	

\*安定化資金5,000,000円及び10周年記念事業積立金5,000,000円を含む

## 貸借対照表

令和元年10月31日現在

一般社団法人 環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
(流動資産の部)		(流動負債)	
現金	519,182	未払金	56,287
普通預金	14,222,057	未払費用	101,100
郵便貯金	1,163,823	前受金	0
前払費用	96,734	預り金	28,553
未収入金	849,400		
流動資産合計	16,851,196	流動負債合計	185,940
(固定資産)		(正味財産の部)	
敷金	705,252	一般正味財産	17,370,508
固定資産合計	705,252	正味財産合計	17,370,508
資産合計	17,556,448	負債及び正味財産合計	17,556,448

## 財産目録

令和元年10月31日現在

一般社団法人 環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)				
現金		つくば事務所保管	運転資金として	61,257
		東京事務所保管	運転資金として	457,925
普通預金		普通預金	運転資金として	13,820,323
		三井住友銀行つくば支店		
		普通預金	運転資金として	401,734
		三井住友銀行自由が丘支店		
郵便貯金		普通貯金	運転資金として	1,163,823
		ゆうちょ銀行		
前払費用			研究発表会準備 技術戦略会議経費	96,734
未収入金			研究発表会補助金(県・市)、受託事業のうち済分	849,400
流動資産合計				16,851,196
(固定資産)				
その他固定資産	敷金		東京事務所	705,252
固定資産合計				705,252
資産合計				17,556,448
(流動負債)				
未払金			技術戦略会議	56,287
未払費用		学会誌支出	人件・交通費等	101,100
		管理費支出	運搬・消耗品費等	0
前受金				0
預り金			源泉所得税	28,553
流動負債合計				185,940
負債合計				185,940
正味財産				17,370,508

## 令和元年度監事監査報告書

令和元年 11 月 27 日  
一般社団法人 環境放射能とその除染・  
中間貯蔵および環境再生のための学会

監事 柴田康行 

監事 中川友夫 

1. 帳簿ならびに関係書類の閲覧等必要事項と思われる監査手法を用いて  
計算書類の正確性を検討した結果、貸借対照表、財産目録、収支計算書は  
会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況および財政状況を正しく示  
しているものと認める。
2. 事業報告については、事業報告書の内容は真実であると認める。

## 一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会

## 新役員名簿(案)

1	鈴木 基之	東京大学 名誉教授	顧問
2	田畑 日出男	いであ株式会社	顧問

## 理事

	氏名	所属	学会内の役職
1	秋山 庸子	大阪大学	理事(新任)
2	家山 一夫	日立造船株式会社	理事(新任)
3	石田 耕三	公益社団法人日本環境技術協会	理事
4	伊藤 光明	いであ株式会社	理事
5	植弘 崇嗣	環境放射能除染学会	理事
6	大迫 政浩	国立研究開発法人国立環境研究所	理事
7	太田 進	公益社団法人におい・かおり環境協会	理事
8	押野 嘉雄	鹿島建設株式会社	理事
9	釜谷 美則	工学院大学	理事
10	河津 賢澄	福島大学	理事
11	金原 暁治	日本メディカル・ウェイト・マネジメント株式会社	理事
12	倉持 秀俊	国立研究開発法人国立環境研究所	理事(新任)
13	小林 正明	中間貯蔵・環境安全事業株式会社	理事(新任)
14	三倉 通孝	東芝エネルギーシステムズ株式会社	理事
15	佐藤 理夫	福島大学	理事
16	清水 英樹	前田建設工業株式会社	理事
17	須藤 欣一	一般社団法人日本環境測定分析協会	理事
18	多田 光宏	JFEエンジニアリング株式会社	理事
19	田中 敦	国立研究開発法人国立環境研究所	理事
20	塚田 高明	環境放射能除染学会	理事
21	峠 和男	株式会社サン・ビック	理事
22	中川 順一	オーヤラックスクリーンサービス株式会社	理事
23	納多 勝	株式会社大林組	理事
24	堀口 敏宏	国立研究開発法人国立環境研究所	理事
25	丸山 能生	株式会社安藤・間	理事(新任)
26	万福 裕造	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	理事(新任)
27	宮田 秀明	摂南大学	理事
28	森田 昌敏	特定非営利活動法人環境測定品質管理センター	理事
29	米田 稔	京都大学	理事

## 監事

1	柴田 康行	国立研究開発法人国立環境研究所	監事
2	中川 友夫	特定非営利活動法人環境測定品質管理センター	監事



**【第 1 号報告】 令和 2 年度事業計画及び収支予算について**  
(2019 年 11 月 1 日～2020 年 10 月 31 日)

**令和 2 年度事業計画書**

1. 登録会員数について

学会の発展と安定的な運営に資するため、会員の増加を目指す。

令和元年 10 月 21 日現在の会員数は次のとおり

個人会員： 214 名（学生会員 3 名含む）

法人会員 A： 49 社

法人会員 B： 2 社

公益会員： 4 社

この数を上まわる会員数目標を達成するため、会員の要請に応える事業展開をするとともに、広く関係機関に広報活動を行う。

2. 定時社員総会及び定例理事会

定時社員総会

日時 令和 2 年 1 月 27 日(月)

場所 新橋付近を予定

議事 令和元年度事業報告及び決算等について  
役員の選任について 等

第 1 回定例理事会

日時 令和元年 12 月 3 日(火)

場所 ハロー貸会議室 新橋 I (ニュー新橋ビル 8 階)

議事 定時社員総会の日程及び議題について 等

第 2 回定例理事会

日時 令和 2 年 10 月頃

議事 令和 3 年度事業計画及び収支予算について 等

3. 講演会

年 1 回程度。講演会を開催する。講演会は、研究活動や共同研究事業との連携を図りつつ行うよう努める。

・第 16 回講演会

令和 2 年度定時社員総会に併設して実施予定

日 時：令和 2 年 1 月 27 日 (月)

場 所：新橋付近を予定

テーマ：未定

#### 4. 研究発表会

第9回研究発表会を福島県福島市において開催予定。

日 時：研究発表：2020年7月1日（水）、2日（木）

国際シンポジウム・エクスカージョンについては今後検討

場 所：とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）

#### 5. ジャーナルの発行

学会誌の発行については年4回を予定。

#### 6. 研究活動等

分野別に各種知見・技術をとりまとめることは学会発足以来の課題となっている。今後、関係機関と連携をしつつ、講演会活動、現地視察研修等を通じて段階的に研究活動を具体化する

また、「県外最終処分に向けた技術開発戦略の在り方に関する研究会（通称：県外最終処分技術戦略研究会）」において、除染から最終処分までの全工程の俯瞰と課題の包括的整理、現状の高度減容化技術の調査と整理、到達可能減容化率の試算等に関する調査研究の成果等を踏まえて、県外最終処分に向けた技術開発戦略の在り方について検討を行う。

#### 7. 関係機関との協力

中間貯蔵・環境安全事業株式会社との「連携・協力に関する協定」に基づき、共同研究の実施、ネットワークの構築等、連携・協力の実質化を図る。

また、国立環境研究所との情報交流の強化を図るとともに、関連の企業、NPO等との情報交流に努める。

一般社団法人 環境放射能とその除染・中間貯蔵及び環境再生のための学会

## 令和2年度 収支予算書

2019年11月1日から2020年10月31日

単位:円

科 目	令和2年度予算	31年度予算	参考:前年度実績(暫定)
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
① 会費収入	9,763,000	11,051,000	9,269,500
個人会員会費収入	1,764,000	2,043,000	1,584,000
シニア会員会費収入	90,000	103,500	76,500
学生会員会費収入	9,000	4,500	9,000
法人A会員会費収入	7,500,000	8,400,000	7,200,000
法人B会員会費収入	200,000	300,000	200,000
公益会員会費収入	200,000	200,000	200,000
② 事業収入			
研究発表会収入	5,000,000	5,000,000	5,121,900
講演会参加費収入	250,000	400,000	216,000
学会誌収入	200,000	400,000	115,300
既刊テキスト販売	50,000	50,000	9,440
受託事業収入	2,900,000	1,900,000	1,452,109
③ 雑収入			
受取利息収入			149
その他雑収入			0
事業活動収入計	18,163,000	18,801,000	16,184,398
2. 事業活動収支の部			
① 事業費支出			
研究発表会支出	5,000,000	5,000,000	5,478,464
講演会費支出	160,000	700,000	363,550
学会誌等刊行費支出	2,520,000	2,300,000	2,688,297
部会活動費支出	10,000	80,000	0
受託事業支出	1,641,000	1,091,000	617,946
② 管理費支出			
人件費支出	3,360,000	3,360,000	3,360,000
法定福利費	580,000	520,000	586,846
福利厚生費支出	10,000	100,000	3,240
ホームページ管理・維持費支出	80,000	418,000	0
会議費支出	120,000	300,000	114,680
旅費交通費支出	380,000	500,000	371,161
通信・運搬費	240,000	260,000	233,901
消耗品費	370,000	550,000	362,351
備品費	280,000	250,000	287,783
事務所費支出	2,180,000	2,160,000	2,157,885
支払手数料支出	22,000	30,000	21,456
業務委託費支出	840,000	840,000	840,000
雑支出	100,000	100,000	131,754
リース料	200,000	172,000	194,604
租税公課	70,000	70,000	397,600
事業活動支出計	18,163,000	18,801,000	18,211,518
事業活動収支差額	0	0	-2,027,120
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
2. 投資活動支出			
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
2. 財務活動支出			
IV 予備費支出	0	0	0
V 正味財産期初残高			
当期収支差額	0	0	-2,027,120
前期繰越収支差額	19,721,468	21,187,835	21,748,588
次期繰越収支差額 *	19,721,468	21,187,835	19,721,468

\* 安定化基金5,000,000円及び10周年記念事業積立金5,000,000円を含む